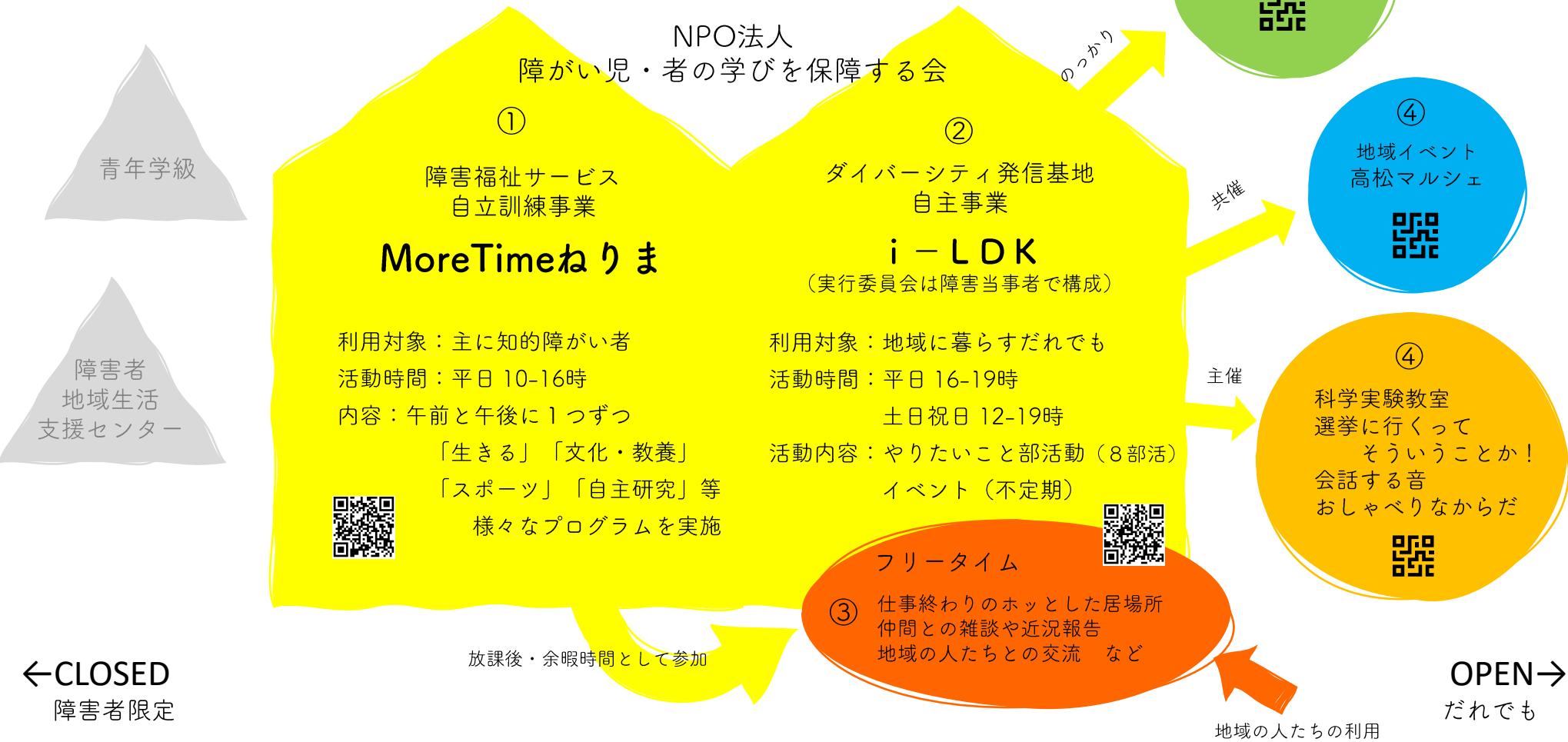


# 障がい者の学びの場づくり

練馬区には青年学級や障害者地域生活支援センターなど、社会教育や福祉の分野に参加者を障害者に限定した講座やプログラムがあります。NPO法人障がい児・者の学びを保障する会では、当事者の学びのニーズに応じ、学校教育から社会への移行期や各ライフステージにおいて必要となる生活や就労に必要な未学習分野の学習補完をするべく、既存資源にない枠組みで多様な学習プログラムを実施しています。…①学習プログラム内外で障がい当事者の個々の状況に応じたかかわりを持ちながら、学びの基礎となるコミュニケーション経験を丁寧に積みあげています。④また、社会に出てから生涯にわたる継続的な学びの場として、障がい当事者を中心に、地域の一員として多様な活動を実施しています。…②障がい当事者が実行委員メンバーとなって自分のやりたいことを部活動にし、試行錯誤しながら活動を続けています。フリータイムでは、地域の中で障害の有無を超えた自然発生的なコミュニケーション経験を創り出しています…③共生社会の実現に向けての取組みとして、イベントを主催するだけでなく、練馬区や地域でのイベントとの共催、地域活動団体とコラボするなど、自分たちの得意をいかしながら、積極的に地域の中に学びの場を開拓しています…④



# プログラムづくりサイクル

実施しているプログラムは、つねに障がい当事者の学びのニーズに応じられているかを検証し、アップデートしています。プログラムを実施している最中の参加者の反応や姿、終わった直後の様子などを記録したり…① 次のプログラムまでの期間、フリータイムやLINEグループなどでの参加者の様子や変化を観察しています。…② プログラムに参加したことが実際の生活にどのようにつながっているのかわかるために、当事業におけるフリータイムなど、プログラム外でつながれる場はとても重要な役割を担っています。そして、こうした当事者の姿や変化をもとに、ワーキンググループでプログラムを検証し、アップデートしていきます。…③ ワーキンググループのメンバーは、「障害」「福祉」を超えた多種多様なメンバーで構成されています。当事業でのワーキンググループには障がい当事者も参加しており、当事者の意見をダイレクトに反映しています。…④ プログラムはアップデートされるだけでなく、新たなプログラムとして創出されることもあります。…⑤

わたしって〇〇！  
This is me!

U.K.



くらしの  
ちぐはぐ研究室



続・選挙に行くって  
そういうことか!



②  
フリータイム  
LINEグループ  
などでの調査・観察

感想  
意見  
つぶやき  
行動

直後の声  
アンケート

反応

①  
プログラムの  
実施

アップデート

④  
障害  
当事者

芸術

新展開

⑤

障害者  
教育

新展開

超大学

上智  
大学



③  
ワーキング  
グループ  
での検証

⑤  
インクルーシブ  
イニシアチブ

新展開

勝手に検討会  
障害者計画編



特別支援  
教育

CSR



# コーディネーターってどんな人？

当事業のコーディネーターは、専門性を問われれば、支援教育専門士（初級）または障がいのある人の子育て歴20年程度といった感じですが、コーディネーターは単に資格やキャリアがあればいいというものではないと考えています。資格や専門性にだけこだわると、立場が明確化・固定化され、当事者との距離が離れてしまうことがあります。当事者が安心して学ぶために必要な関係を構築するとき、立場を超えて当事者と同じ目線に立ち、様々な表現から、見えづらい心を読み取り、言葉にならない声に耳を傾けていくことが大切になります。障がいのある人たちが様々な社会的課題の中で生きてきた背景を持つことを理解しながら、プログラムだけでなく、日常ベースでのかかわりの中で、人として共感できることを探していきましょう。ひとりで抱え込まずに、積極的にまわりの人のチカラを借りながら場づくりをしていくと、みんなにとっての学びの場になります。

自分の「専門性」に  
こだわらない

当事者を  
中心にできる

計画に  
とらわれない

楽しいかどうかを  
大事にする

いろいろな人の  
力を借りられる

わたしも同じだ！

「上手に物事をこなす」  
のこねねのこねね

たいへんなことは  
ひととのかんけいがたいへんです

話をして落ち着きました

いつか結婚してみたい

学校みたいなら  
こりごりだよ

ぼくとあずさんは  
友達だもんね

考えるためには  
時間が必要です

今度は見る側じゃなくて  
やる側になりたい！

他の人の得意なことを聞いて  
おもしろかった

学校で「早く、早く」って  
言われるのが嫌でした

わからないことを素直に  
わからないと言えない

実際にやってみないと  
わからない

たのしかったから  
続けていきたい

健常者だからできるんです  
ぼくは障害者だからできません

自分のことは  
自分で決めたい



# 障がい当事者参画へのステップ

はじめはワーキンググループからスタート。たのしいプログラムで顔なじみになっているワーキンググループから参加を募集しました。「参加したい人は参加してね～」といった気軽な感じで誘いかけることがポイントで、無理強いは禁物です。ワーキンググループでは当事者がリラックスして参加できるよう、会議っぽい堅い雰囲気を崩し、おかしを食べたり、雑談を交えながら進めていきました。ワーキンググループの様子はできるだけOPENにし、「わたしも参加してみたい!」を誘発するようにしました。翌年度は別の会議体への参加の準備として、アーカイブ動画を視聴できるようにしました。また、大学や企業関係者との超大学に参加し、多様な人たちと話し合う機会をつくりました。その次の年には、ワーキンググループだけではなく、関係者ミーティングへの参加もし、その他の会議体を傍聴する機会を持ちました。こうした経験を積み上げてきたことで、今年度より事業推進担当者としてウェブサイト運営委員として、参画することになりました。



いろいろ配慮を  
してもらいながら

**事業推進担当者  
ウェブサイト運営委員**

まずは動画で  
様子を観てから

練馬区障害者計画懇談会  
文科省人材育成会議  
傍聴

文科省人材育成会議  
傍聴

プログラムを一緒に  
たのしんだ経験から  
緊張せず話しやすい

関係者ミーティング  
アーカイブ視聴

関係者ミーティング  
参加

関係者ミーティング  
参加

超  
大  
学

超  
大  
学

超  
大  
学

ワーキンググループ  
参加

ワーキンググループ  
参加

ワーキンググループ  
参加

ワーキンググループ  
参加

2018年

2019年

2020年

2021年